特定非営利活動法人　子ども劇場千葉県センター　　・・・千葉県子どもの文化情報紙・・・

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2－17－6
サンコート新千葉１０２号

TEL:043-301-7262　FAX:043-301-7263
発行責任者：特定非営利活動法人　子ども劇場千葉県センター
2013年4月10日発行　第68号　1部100円　E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp

ぐるっと房総

3.11東日本大震災から2年

子どもＮＰＯ･子ども劇場全国センターと連携して開設

ママパパラインを福島と岩手で創設　宮城はすでに常設化

「ママパパラインちば」からボランティアを派遣して２年目　延べ１４６人

東日本大震災から3月11日で2年。ほとんどの被災市・町では、未だ復興計画が定まらず、住宅の建設もすすんでいません。狭い仮設住宅での窮屈な生活、失業、飲酒、家庭内暴力、児童虐待・・・と、子どもへの影響が心配されます。復興への取り組みがようやく軌道に乗る地域も出てきた宮城県、岩手県に対し、福島県は、原子力発電所の事故の爪痕が深く、先の見えない不安と不満があります。

子どもＮＰＯ・子ども劇場全国センターでは、東日本大震災支援のひとつとして、被災した子育て世代を応援しようと、「子育て世代のための傾聴電話ママパパライン」を実施しました。２０１２年１月に「ママパパライン会津」を開設し、２０１３年２月「ママパパラインいわて」を創設しました。仙台・福島（会津）はすでに常設化し、岩手も常設化をめざしています。

「ママパパラインちば」からは、２０１２年１月から２０１３年３月までに、延べ１４６人のママパパライン傾聴ボランティアを派遣しました。

派遣した傾聴ボランティア

会津へ 2012年1月 23日～28日	6日間	受け手30人 支え手12人 事務方6人
2012年7月 ～2013年3月	17日間 第1･3木曜日	受け手36人 支え手26人 事務方16人
岩手へ 2013年2月 11日～3月 11日	29日間	支え手10人 事務方10人

東日本大震災被害状況
死者 10,588 人
行方不明　2,668 人
関連死 2,303 人
避難 315,196 人
建物全壊 128,801 戸
(2013･3 警視庁、復興庁)

かけてきた方々との一期一会の出会いを大切に、やり場のない不安や怒りに共感的に寄り添いました。被災後、時間を経過するほどに、かかえている問題は複雑になり深刻化しています。子どもや家族のためにと、それらを胸に押し込め必死に生活し、様々な解決しがたい重圧が子育て世代に重くのしかかっています。特に福島では、まだ言葉にならない・言うにいえないことがいっぱいあるように感じました。

「被災者の心」の問題に関わるとき、いつも無力さを感じつつ、でも、今できることを精一杯息長く続けていくことだと思っています。

（文責:中村）

ママたちの声

【災害関連の】子どものこと

震災後ひとりでトイレに行けなくなった／子どものＰＴＳＤで通院、お母さんがしっかりしないと言われるが自分もイッパイ／震災後、息子が寝ている間もテレビをつけっ放さなないと不安がる／震災以鼻血が出る、放射能の影響が心配／子どもが学校に行きしぶる。福島に帰りたくても帰れない／本当はおおらかに育てたいのに、震災後神経質になってしまってダメダメばかり言ってしまう／

【災害関連の】本人のこと

夫の職場が流失し養育費が来なくなりフルタイムで働くようになった。環境が変わり友達とも疎遠でつらい／直接被災してはいないが仕事や暮らしが変化した／ガレキを見ると動悸がし具合が悪くなる、メンタルクリニックに通っている／何度も引越しして独りで子どもを守れるのか不安／被災し内陸に引っ越したが、災害の受け止め方に差がありとまどう／親子とも元の地域に戻りたいと思うが戻れない／被災地に行くと耳鳴りがし手が震え具合が悪くなる／福島から避難。原発で働いている夫と気持ちのすれ違い／水も土も虫も着るものも全て心配／震災後うつ病が悪化

※災害関連に関するこれらは、プライバシーに配慮し再構築しています。子どもＮＰＯ・子ども劇場全国センターの了解を得て掲載しています。　コピー等はお控えください。

◆聴いてもらったママの声

・話しを聴いてもらって、落ち着きました。
・自分で整理がついてきました
・こんな風に全部優しくきいてくれる人がいて感謝してもしきれません、忘れません
・話すだけでラクになりました
・誰も話せる人がいないので、こういう所しか言える場所がない
・他の電話相談ではきいてもらえない所まで話せました・他の人に言えない自分の気持ちが話せて、楽になりました
・グチをきいてもらってすっきりしました
・自分も休めるよう工夫して、焦らないようにやってみます

おもいっきり遊びつくす

放課後子ども教室（八千代市村上北小学校）

喧嘩をして、泣いたり怒ったり、仲直りをしたり、笑ったり、喜怒哀楽がいっぱい詰まった放課後子ども教室で、自由に遊ぶ子どもたち。おもいきり遊んでこそ、その中から生まれる優しさや思いやりを子どもたちからたくさん見ることができました。

いっしょにあそぼ！

四月当初は、よく喧嘩をしてぶつかっていましたが、後半になると大きな喧嘩がなくなりました。きっとみんなのことが分かってきて、折り合いをつけることができるようになったのでしょうか。

でも思い通りにならなかったり、謝ってもらっても許せないと泣いてしまったりした時は、スタッフのどんな言葉よりも、友だちの「いっしょにあそぼ！」の言葉で元に戻れるのです。

みんなであそぶ「段ボールあそび」

放課後子ども教室には、段ボールとガムテープ、紙が欠かせません。とにかく段ボール遊びが大好きで、みんな一緒になって家作りが始まります。それから「ごっこ」遊びが展開していくのです。子どもたちの創造力には目を見張ります。時には「人生相談コーナー」ができてスタッフの相談を解決したり、家のそばを電車が走ったり、段ボールの巨大な魚を釣り上げる「釣り堀」だったりと、次から次へと子どもたちのアイディアが生まれ、いきいきと遊んでいます。

一緒に遊んでもいい？ もちろん、大歓迎だよ！

異年齢で遊ぶ場面も多々ありました。縄跳びに息を合わせて何度もチャレンジして、続けて飛べる回数が増えていきました。

また校庭の築山は絶好の遊び場。いつも群れて遊びます。鬼ごっこが始まると、後から来たS君がリーダー格である年上のK君に声をかけました。すると「もちろん、大歓迎！」の答えにキョトン。スタッフに「大歓迎ってなぁに？」と聞いてきました。意味を伝えると満面の笑顔で集団の中に飛び込んでいきました。

大きな声がだせたよ！

特別支援学級6年生のG君。卒業で最後の放課後子ども教室。お迎えのお父さんのリクエストでみんなと一緒に記念写真。「ありがとね。とても楽しかったよ！」とG君。一番楽しかったのはなぁに？と聞くと「大きな声がだせたよ」と答えました。てっきり、いっぱい遊んだチャンバラごっこや段ボール遊びの答えが返ってくると思っていました。

元気な子どもたちの歓声が聞こえる放課後子ども教室は、おもいっきり遊んで心を開放し、エネルギーを発散できる場所です。

大きな声を出して遊べる環境が、ここにはあります。

根気よく続けた織物あそび

子どもたちの中で、流行った遊びに「織物」があります。段ボールに毛糸の縦糸を張って、横糸を紡いでいくものですが、根気よく続けて一つの作品にしました。

車椅子を使うKちゃんも一生懸命に作ってペンダントに仕上げ、お迎えのおばあちゃんにプレゼント。おばあちゃんは「涙がでてくる！」と喜んでくれました。

スタッフから見えた子どもたちの成長

K・N

「おかえり～！」「ただいま！」子どもたちは受付して、ランドセルを置いて、さあ、宿題を・・と思っていましたがなかなか手ごわいです。中には習慣になってすぐに宿題に取りかかる子もいますが、学校での緊張がほどけるのか、ひとしきり大きな声をだし動き回ります。もうエネルギー全開です。
そしてよく喧嘩もします。私は仲裁がにがてですが、そんな時は若者スタッフが上手に関わってくれます。「〇〇ちゃんは家に帰ったら一人でテレビのまえでゴロゴロしてるんだって」「お母さんが帰るまでずーっとゲームしているよ」「放課後教室が好き」そうです、ここに来れば友だちといっぱい遊んで喧嘩もできます。喧嘩するけどすぐにまた遊び始める子どもたちの姿に安心します。

A・O

放課後子ども教室ではドッジボールやバスケットで学年の違う子も一緒に遊んでいます。リードするのは学年の大きい子どもたちですが、1年生も誘い力が優位な上級生が自分たちで提案しハンディをつけているのには感心します。
特別支援学級の子どもたちと、通常学級の子どもたちも最近では自然に遊びの仲間になっています。特に支援学級の子どもたちが、積極的に遊びの仲間に入ろうとする姿があります。通常学級の子どもたちはとまどいながらも受け入れて遊んでいます。いろいろぶつかり合うことがありますが、かかわったからこそ理解し、受け入れることができ、成長の糧となっていることを感じます。

M・Y

R 君は放課後子ども教室が始まった当初、なかなか落ち着いて遊ぶことができず、気に入らないものを投げたりしていました。この頃は、怒りをすぐにぶつけずにぷいと外へでていきます。そこでじっと座って怒りが静まるのを我慢している光景を見かけます。その時スタッフがついていこうとすると『来るな！』と言います。気が済むと何ごともなかったように部屋に戻ってきて皆と遊び始めます。自分なりの気持ちを整理する方法を考えたんでしょう。下校時に送っていく途中「僕は悪い子なんだ・・・。」って言った時がありました。そのあと R 君といろいろ話をしながら帰りましたが、そんな話ができるようになった関係がうれしいです。

T・S

放課後子ども教室が始まった時の子どもたちを見て「何も考えてないんだな」って思っていましたが、一人一人個性があり、彼らなりに考えていることが分かりました。子どもたちは、学校でのトラブルや気持ちを持ったまま放課後子ども教室に来ます。子どもなりにストレスがあることを感じます。
K 君は友だちの輪の中には入っていますが、うまく自己主張ができずに友だちの言葉に左右されながら行動しているようにみえました。でも最近は「いれて！」と自分の気持ちが言えるようになり自信を持てるようになりました。継続して友だちと遊べる時間があり、そこでいろいろなことを経験した力だと思います。

M・A

子どもたちは個性が豊かです。自分の気持ちを抑えられずにすぐに大声をだし「わー！」となってしまう男の子、体育館の片隅で二人だけになった時家族のことを話してくれた子、仲間はずれにした男の子に「謝ってきな」と言ったら素直に「ごめんなさい」といった子、などなどたくさんの思い出があります。
スタッフとして厳しさや、優しさ両方大切です。「片づける時間だよ」と言ってもなかなかいうことを聞いてくれませんが、スタッフとの信頼関係があれば必ず成長する姿を見せてくれます。子どもたちから学んだことの方が大きいかな・・

J・T

子どもたちのキラリと光る瞬間に立ち会えることは、スタッフの醍醐味でもあります。
特別支援学級の H ちゃんは、放課後子ども教室が始まった当初は、落ち着いて座っていることができませんでした。混ざり合って遊ぶ環境の刺激が強かったのか人の話も耳に入りませんでした。特別だった放課後が、回を重ねる度に日常となり、今では、集中して遊ぶことができますし、遊んだおもちゃをその都度、自分から片付けることができます。なにより大勢で一緒に遊んだときに、全身で喜びを表わし、声をあげて笑っている顔を見ることができました。大勢の人と関わることが H ちゃんの大きな成長に繋がっていると実感しています。

子ども劇場千葉県センターから

少子化、孤立した子育て家庭、地域の崩壊など、子どもや子育てを取り巻く環境が変化している中で、放課後子ども教室は、授業が終わり、自由な時間を過ごす安心、安全な場所として貴重です。
子ども劇場千葉県センターが八千代市から受託した当初、子どもたちの放課後は、家に帰ってからの話や、どこで遊んでいるのかなど子どもたちから聞き、想像していたよりたっぷり遊べる時間がないということがわかりました。
学校から遠い子は帰ると外に出ることもなかったと聞きました。遊びたい盛りの小学校低学年でさえ、放課後は一人で過ごすことが多いようです。
子どもの成長には三つの間「時間・空間・仲間」が必要と言われていますが、まさに放課後子ども教室はそれを保障するものです。
子ども劇場千葉県センターは子どもに関わる大人として、いつでも子どもの気持ちに寄り添い、子どもたち自らが、生活の主役になることを応援します。
ボランティアとして関わる地域の方も増えてきました。これからは子どもたちの成長を見守ってくれる地域の人の輪を繋げたいと思います。

地域ボランティアの村上将棋サークルさん

地域ボランティアの読み聞かせ

作品名：あ・ぶ・ぶ人形劇場「こいぬとこねこのゆきだるま」
公 演日：10 月 21 日(日)
会　 場：船橋市中央公民館講堂
参 加数：186 人

『子育て応援メッセ in ふなばし実行委員会』
(特)船橋子ども劇場

「子育て応援メッセ」に生の舞台を組み込めて、新しい出会い、笑顔がいっぱい！

☆子育て応援メッセには行政や医師会など30の子育て支援団体が参加している。実行委員会で理解、共感が得られ、船橋中の子育て当事者に広くチラシで広報することができたおかげで申し込みが次々とあり、初めて生の舞台を観る多くの親子で、講堂はいっぱいになった。
「かえるのジャンプがおもしろかった」「子犬が雪だるまをストーブの前においたところがおもしろかった」と、舞台にひき込まれ、集中した子どもたちから、また「トークもストーリーもおもしろくかわいかった。思わずいっぱい笑ってしまいました」と親からの感想が寄せられた。舞台を観た後の折り紙教室にも多くの親子が参加して楽しんだ。
受付で、「子どもとメディアのじょうずな付き合い方」の冊子を配り、「親子で一緒の共通体験は子どもの心の成長には必要」とアピールできてよかった！

作品名：あ・ぶ・ぶ人形劇場「こいぬとこねこはゆかいななかま」
公 演 日：11 月 4 日(日)
会　 場：四街道さつき幼稚園
参 加数：92 人

『パフェママはゆかいななかまたち
～手をつなごうおやこの会～実行委員会』
(特)四街道こどもネットワークたまごキッズサークル

お父さんもおばあちゃんもみんな、家族そろって生の舞台にわくわくドキドキ

☆乳幼児の子育て中の親たちによる実行委員会を立ち上げた。作品選びから会場決め、予算、ちらし作りなどはじめてのことにとりくみ、自分たちでもできた達成感をえた。毎月 1 回の実行委員会や「パフェ作り」など子どもたちを遊ばせながら話しあっていくうちに子どもも親もより深くつながり、お母さん同志、子どもたちが仲よくなったことがなによりうれしい。
かわいい人形劇がはじまると子どもたちは楽しそうに笑って、立ち上がってからだ全体で表現したり、じーっと集中しておしばいの中に入っていたり、昨年はお母さんにべったりだった子たちがプレゼントを渡した姿に成長を感じたり、うれしい時間となった。
はじめてお父さん、祖父母家族そろって参加した人たちも多く、生の舞台に触れ感動を共有する場を届けることができた。

作品名：人形劇団むすび座「おまえうまそうだな」
公 演 日：3 月 24 日(日)
会　 場：四街道公民館
参 加数：92 人

『「おまえうまそうだな」実行委員会』
(特)四街道こどもネットワーク

はじめて観たよ！さすがプロ、本物はよかったね

☆はじめて生の舞台をみる親子サークルが実行委員として参加。
幼稚園・こども園の先生、民生児童員さんも参加して子どもに対する思いや生の舞台鑑賞の必要性を共有し、キャッチフレーズは「ゲームよりも！テレビよりも！本物の人形劇を子どもに観せよう」に決定。自分たちの仲間に声かけしながらはじめてのお当番（プレゼントづくり・かざりつけ・名札づくり）も経験。事前のあそびも作品から恐竜づくしで楽しんだ。
最前列には幼児がずらっと勢揃い、舞台が始まると大きな笑い声があがった。1・2 歳の子どもも予想以上にすごく集中して観ていたことにお母さんたちはびっくり。「また観たい」とかわいい感想をいってくれた。とってもたのしかった・おもしろかったよ。家に帰ってすぐ、観なかったお父さんに興奮して話した子も。
はじめてプロのおしばいを観た親子が多く、おどろきと感動した感想がほとんどで「また観たい」、「機会があれば参加したい」と次への期待がふくらんだ。

①作品名：劇団風の子「あそぼ」
公演日：12 月 9 日(日)
会　 場：流山市生涯学習センター
参 加数：93 人
②作品名：劇団風の子「おまつりぴ～ひゃらどん」
公 演日：2 月 24 日(日)
会　 場：流山市初石公民館
参 加数：158 人

『おまつりぴ～ひゃらどん』
おまつりぴ~ひゃらどんとあそぼの会
(特))流山おやこ劇場

友だちから友だちに声かけして「あそぼの会」のみんなで舞台をみたよ！

☆地域で子どもたちが年間を通して遊びこんで、生の舞台鑑賞「あそぼ」と「おまつりぴーひゃらどん」を大勢で鑑賞したい、わくわくするような遊びの体験は子どもたちの表現のインプットとアウトプットを豊かにするだろうし、子どもたちの創造性、感受性が刺激されるだろう・・・と実行委員会はイメージを描き、11 回の「あそぼの会」を開催した。殆どは自分たちで考えたあそびで、神社でドロ警、ハローウィン、凧つくり・・・思いつくことをどんどんやった。
「劇団風の子さんとあそぼの会」には 70 人が参加。コマ、けん玉、お手玉などを伝授され、「だるまさんがころんだ」「とうりゃんせ」などの集団あそびでも盛り上がった。中心になった小学生は学校の総合学習「昔の暮らしにタイムスリップ」でコマを披露したところ、3学期中そのクラスではコマまわしがはやった。何度も一緒に遊んだ子どもたちは「○○ちゃんも行く～一緒に観に行こう」と誘いあい、本番の「おまつりぴーひゃらどん」に来た子どもたちの8割はそうして誘われて来た子たちだった。舞台を観ている子どもたちはまるで自分が遊んでいるかのように反応し、役者さんと心が響き合っていた。

ひらけ夢ステージ・ちば２０１２

～子ども・大人・地域が元気になる舞台芸術プロジェクト～

2009 年度「ひらけ夢ステージ・ちば」を立ち上げて 4 年、2012 年度(2012 年 10 月～2013 年 3 月)は、県内 8 地域実行委員会において公演が実施され、のべ 1,007 人の子ども・親子が参加し、生の舞台にふれることができました。子どもたちのはちきれんばかりの笑顔、親子が嬉しそうに顔を見合わせながら笑っていた、本当にうれしい場となりました。
県域実行委員会では実施団体の皆さんとともに、人形劇団ひぽぽたあむ　永野むつみさん、NPO 法人まちアート・夢虫　半田晶子さんのお二人に的確なアドバイスをいただきながら学習・交流をしてきました。地域での子どものあそび体験を大事に考え、公演当日までとことん遊びこんで当日を迎えました。また、同じ作品となった「どうぞのいす」はお互いのアイディアをいかしながら、お父さんの参加に向けての企画をして家族がそろって体験を共有することができました。はじめて舞台を観たおやごさんは、いつもの子どもと違う様子や表情に驚き、自分自身も楽しんでまた、いっしょに観たいと声があがっています。
あらためて地域を見渡すと地域の人・NPO・他団体・行政と多くの応援者・協力者がいます。地域でつながっていくことで「生の舞台を届ける」ことができます。県内の子どもたちがもっともっと出会う機会を増やしていくために、「ひらけ夢ステージ・ちば」で学習・交流しながらごいっしょにとりくみませんか

作品名：ほんわかシアター「かあちゃん　だぁーいすき！！
公 演日：3 月 16 日(土)
会　 場：美浜文化ホール　リハーサル室
参 加数：76 人

『ほんわかシアター実行委員会』
千葉西おやこ劇場

よーく観ていたね、笑うところが違っておもしろい！

☆今まであまり活動できていなかった地域の他団体と話し合いがもて協力をえられた。
参加者もどのくらいになるか心配だったが、ひとつの幼稚園から多くの申し込みがあり、またリピーターも多くあって当日を迎えた。幼児の人たちのとりくみを大事に考えて子どもたちが書いたお母さんの似顔絵を受付にはり、会場入り口をかわいく飾った。
はじめて観る子どもたちは親から離れてもよく観て笑い、親も安心して楽しんでいた。
幼児から小学生までいたので年代によって笑うところが違っておもしろかった。舞台にむかって声をかけたり、どっぷりおしばいにつかっていた。
リピーターの人が多かったことから、こういった舞台鑑賞が望まれているという手ごたえがあった。お父さんやおばあちゃんの参加が多くみられたのもよかった。
会場となった美浜文化ホールとの今後の協力体制について話し合われ、共催事業が決まった。子どもたちによりいっそう生の舞台を届けたい。

作品名：演劇集団円「どうぞのいす」
公 演日：3 月 20 日(祝水)
会　 場：印西市フレンドリープラザ多目的ホール
参 加数：130 人

『子どもアートスタート実行委員会』
(特)いんざい子ども劇場

お父さんたちがつくったいすが会場に並んだよ、ならんだいすがとにかくかわいかった！！

☆実行委員会で何回も打ち合わせを重ねることで、様々なアイディアがあがった。作品にちなんで親たちはいす作り、子どもたちはお菓子の家作りをして最後はいすにお菓子の家をのせて家族写真をぱちり！家族単位で参加することが多い子育て世代にとって、お父さんに焦点をあてた企画は、関心を広げるニーズにあっていたのか、家族単位での参加が多かった。
「はじめてがいっぱい」をキーワードに「はじめてみつけ」は、参加できない小学生の兄弟たちも手伝うことでいっしょに参加している感をつくった。
公演当日は、会場に手作りのいすが飾られ、作ったお父さんたち 20 人も参加。みんながよく知っているお話しということもあって、前列に座った子どもたちの反応がすごくよく、おもいっきり楽しんでいた。お父さんも子どもたちといっしょに歌に合わせてからだを動かし、笑顔になっていた。
終演後のアンケートをとったら「鑑賞」の希望が多かった。やらなければわからなかった！

作品名：演劇集団円「どうぞのいす」
公 演 日：3 月 8 日(金)
会　 場：市川市曽谷公民館
参 加 数：75 人

『どうぞどうぞ、会員さんも地域の方も、
共に手をつなぎましょう』
(特)市川子ども文化ステーション北地区

パパと一緒に作ったいすは世界に一つだけの宝物

☆実行委員会にファザーリングジャパン千葉支部代表や保育園のお母さんが加わったことで、事前交流会（子ども椅子作り）を開催することができ、多くのお父さんが参加した。始まったとたんにトントンという音が部屋中に響き、初めはパパに教えてもらいながら作っていたが、そのうちパパの方が夢中になり、一生懸命に作る姿が頼もしいやらほほえましいやら。できあがった椅子は思い出いっぱいの世界に一つだけの椅子になり、「うちの家宝になりました」と言うお母さんもいた。舞台公演の「どうぞのいす」を観るのがすごく楽しみになった。公演では、子どもたちは、次から次へと登場する動物にびっくりしたり、ハラハラドキドキしたり、楽器の音色に反応したりとノリノリで楽しんでいた。

『若者が語る』～いじめ・体罰の体験から～」で、当事者が語ったこと

2013．3．17(日)　千葉県子ども人権条例を実現する会総会・懇談会　　参加者：２８人

―― 子どももおとなも、孤立しないで繋がって、みんなで幸せになりたい――

今年の総会関連企画は、小学生、中学生時代にいじめの体験をした若者たちが体験と提言を語り、意見交換をする懇談会でした。三人の若者のリアルな体験は何を訴えているでしょうか？
家庭、学校、地域の中で、おとなは子どもの声に耳を傾けているでしょうか？　普段からよく話をしているでしょうか？子どもたちに「困ったらまわりの人に相談して！それは少しも恥ずかしいことではないよ！」というメッセージをくどいほど出しているでしょうか？見て見ぬフリをしていないでしょうか？

中学校の部活で事件が起きて、男子全員がやめた。部長の自分だけが残り、女子と一緒にやっていたら、「内申書めあて？」とか言われはじめ、殴られ、けられ、無視され、ものを隠され、教科書は窓から外に投げられ、ツバをはきかけられた。先生には「お前がわるい」と言われ、大人が信用できなくなった。その頃父親は入院していて、母は忙しかったので、訴えなかった。
不登校にはならないで、毎日学校に通った。1 人のすごく小柄な女の先生が、気を使ってくれ、いつも声をかけてくれた。「何を言ってもいいんだよ」としつこいくらい言ってくれた。しつこさが救いだった。その先生が、生徒から怖がられていた先生に通報してくれ、父親は退院して「どうしたのだ？」と警察に通報、学校側が動いて解決した。でも、これで終わったわけではない。やる側が他の人をターゲットにし、その子は不登校になった。自分がやられていればこうはならなかったと、後悔した。みんなが見てみぬフリをした時に、「自分を信頼していい」「何でも言っていい」と言ってくれた先生のように、自分もそんな人になりたいと思っている。

（会社員のＹ．Ｓさん）

小中学校時代に「ばいきん」と言われた。父親に暴力をふるわれたり、一晩じゅう学校に行かない理由を問いつめられた。近づいただけで悲鳴をあげられたり、無視されたり、靴の中に画鋲を入れたり、トイレで性的いじめにもあった。先生に話しても「あなたの気にしすぎ」といわれるだけだった。そういう自分のすがたを空から人ごとみたいに見るようになった。今思えば自分を守るために心を殺していたんだと思う。17 歳のとき、ある通信の編集を手伝うようになり、児童精神科医の方や東京シューレの人と出会い、人前で体験談を話せるようになった。学校に行けなかった自分はまちがってなかった、自己防衛手段だった、とわかった。今も心から楽しいと思える感情が湧いてこない。
義務教育では、「子どもが安心して学ぶ権利があるということを親やまわりおとなたちが知り、子どもを守る」義務があると思う。今やっているフリースペースでは、20 歳以上なので、なべをやったりお酒を飲んだりしてうちとけられる。学校以外の場所に、ありのままを受けとめてもらえるシェルターやかけこみ寺がほしい。人は心の傷をいやさないと外にはでていけない。

（当事者のフリースペースをやっているＹ．Ｉさん）

近所の幼ななじみで部活も一緒だった子からあるきっかけでいじめられるようになった。口をきかなくなり、無視がはじまり、もうひとりの子と悪口を書きあい、私は孤立した。逃げ場がなかった。クラス委員をやったら、「いい子ぶってる」と悪口を言われたり、イジメのアンケートで「クラスでやさしい人・きらいな人」を実名で書かされた時、先生は助けてくれなかった。今も心に傷が残っている。
中２から不登校になり、家でも孤独だった私が変わったきっかけは、「学校には行ってほしい」と言っていた母が「不登校の親の会」でそういう生き方があることがわかり、だんだんまなざしがかわっていったこと。ネモネットの通信紙を発送するところに不登校経験者の女の子たちがいて、自然で楽しいかんじだった。そこに入って不登校の体験を書いて、人に声をかけてもらうようになり、ありのままの自分を受けとめてもらえて、私だけがうまくできないと思っていたが、みんなもいろんなことを抱えていたことがわかった。仕事にもでられるようになった。水の波紋のように世界がひろがった。いじめは人の尊厳を傷つける。学校しか行き場のない子どもに対し「学校以外の居場所」があることを伝えたい。

（不登校の子どもの居場所、相談機関のスタッフのＫ．Ｋさん）

★千葉県教育委員会のいじめの定義は平成 18 年から変更になり、「児童生徒が一定の人間関係のあるものから心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」へと変わり、「起こった場所は学校の内外を問わない」こととされています。またいじめの調査対象は発生件数から、認知件数に変更されました。

☆この２年間の自治体の子どもの関係条例としては、県レベルでは、三重県の、子どもを権利の主体とする「三重県子ども条例」、岐阜県可児市の「可児市子どものいじめの防止に関する条例」、世田谷区の、「子ども条例」の改正（子ども自身の声を受けとめ、子どもの権利侵害に関する救済のための人権擁護機関の設置）、千葉県市原市の、子どもの権利条約を基本理念とする「笑顔が広がるいちはらっこの子育ち支援条例」等があります。

NPOではたらく人

仲間の笑顔に囲まれた80歳の私をイメージして

ＮＰＯ法人船橋ウオーキング・ソサイエティ　　代表理事　佐藤ヒロ子

現在女性の平均寿命が 84 歳。折り返しの 40 歳を迎えた頃、80 歳のなりたい自分をイメージし浮かんだのが、笑顔で仲間に囲まれている様子です。イメージの実現にひとりでだけも出来て、仲間たちとも楽しめ、永く続けられるスポーツに切り替え、水泳・気功・ヨガを始め、最後まで残ったのがウォーキングです。

ウォーキングは、内閣府世論調査で、今後やってみたいスポーツ、やっているスポーツで常にトップです。16 年前の 1997 年 3 月に健康づくりにウォーキングは良いとは言われても、その当時、専門的な支援者は少なかった時代です。たまたま競歩のアジア大会で銅メダリストの故佐藤武雄先生と出会い、ウォーキングサークルを立ち上げました。その頃から現在までポリシーは同じです。①同じ時間をやるなら効果的な方法で。②近場で気軽にできること。（体力・費用・時間をかけられない人も多い。）③老いても一人より仲間と一緒が楽しい。（永く活動できる態勢づくり。）

任意団体の時は、ウォーキングに対する目的が個々に違い、ポリシーを共有し継続が困難でした。いろんな経験をして任意団体から 13 年目の 2010 年、このポリシーを貫くために、ノルディックウォーキングを取り入れる時に NPO 法人設立を決断しました。NPO 法人にしてやっと目的が目先に留まらず、先の永い支援が可能な団体になりました。

現在正会員は 13 名。男性と女性が半々。話し合いを重視し合意の上、進むべき方向の結論を出しています。ただ、会として年齢層が高いのが悩みです。今回、「県民活動基盤強化事業」開催のお電話を頂き、各担当正会員が参加しました。より広く多くの世代の取り込みを期待して現在 IT を使った情報発信を頻繁にしています。たった 1 本のお誘いの電話で会員の意識が変わり、流れがうねりになったと感じます。

子どもにとって大切なことは、豊かな経験だと思います。失敗も大切な経験。弱さを知って強くなれます。人生順調に行く事ばかりではない。辛い事も出てくる。その中から、何か得て欲しい。マラソン、自転車こぎでもそう。転んでも立ち上がらなければゴールは来ない。是非、立ち上がる経験をしてほしいと願っています。

私からのメッセージ

会津子ども劇場は誰でも・いつでもウエルカム！！

会津子ども劇場　　事務局長　芳賀　茂美

みなさんこんにちは、お元気ですか？

2012 年のキャンペーンから、千葉のママパパラインのメンバーの方々はじめ全国のママパパラインのみなさんの温かいご支援とご協力を頂き、本当にありがとうございました。

延べ 100 名を越えるボランティアの方々が会津へ足を運んでくださったのですね。感謝、感謝、ただただ感謝です。

ママパパラインの開設の日は、「ただいま」「おかえり」、そんな挨拶が交わされ、毎回みなさんに会うのが、とても楽しみになっていました。電話のベルを待っている間の雑談の中での貴重なお話、そして、緊張と安心の共有、何より居てくださるだけで本当に心強かったです。特に、受け手のケアは良かったです。毎回毎回ステキな人がサポートに来てくださり、アッという間にみなさんと信頼関係が築けたことがとても嬉しかったです。

全国に仲間がいる！これは宝ですね。子ども劇場という組織の存在は大きいです。関わる人が何か同じ匂いがして一緒にいて安心感があります。開設日は緊張感もありますが、電話がかかってくる束の間の間、楽しい話に花が咲き、いつの間にか笑いの渦!! シー！また静寂が戻り・・・。この笑いは、電話の受け手の方々がリラックスできる「おクスリ」にもなっているようです。

悩みが無い人などいなく、みんな誰かと話したい、誰かとつながりたいと思っていると思います。偶然と必然との出会いから、千葉の方たちとこのような関わりができたこと、夢のようであり運命とも感じます。

まだまだママパパライン事業は始まったばかりです。傾聴は奥が深く、日々勉強だと感じています。これからも大人と子どもの居場所になりながら、私たち自身仲間との信頼関係を深め、この事業に取り組んでいきたいと思います。誰でもいつでも「ウエルカム！」が信条の会津子ども劇場は、今日も「ガハハ！」というにぎやかな笑い声が響いています。

船橋子ども劇場 NPO 法人認証 10 周年をお祝いして

子ども文化最前線

同い年の“2分の1成人（10歳）”も「ぼくの夢・私の夢」を決意表明してお祝いされました！

パパママ＆青年バンドがお祝い演奏

10 歳の子どもたちが、20 歳の成人を迎えた青年をエスコートして入場。いつもは、20 歳の成人者に成人を迎えるにあたって思うこと、決意表明などを文章にしてもらうのですが、今年は 10 歳の子どもたちにも「将来の夢」の文章を書いてもらうことにしました。将来の夢や今頑張っていることなど、みんなそれぞれ、その子らしいすてきな文章を寄せてくれました。

2013 年 1 月 20 日（日）船橋中央公民館　参加者 91 人

みんなの決意表明「みんなちがってみんないい！」

・「子ども劇場は特に中学生の当時私の居場所でした。青年のみんなにとてもよくしてもらったおかげで、中学校生活を乗り切ることができました。子ども劇場にはたくさんの出会いがあり、いろんな経験ができます。私自身も、いろんな経験をしました。こんな貴重な場所はなかなかありません」（20 歳・女子）

・「私はあと 10 年たったら自分も人も支えられるすてきな大人になりたいです。そのために子ども劇場を大切にしていきたいです」（10 歳・女子）

・「大きくなったらやってみたいことは、自分だけの仕事をやってみたいです。自分だけの仕事をやって、みんなをおどろかせたいです」（10 歳・女子）

・「ぼくは特に算数をがんばっています。なぜかと言うとしょう来、せっ計図を書く仕事をしたいからです」（10 歳・男子）

・「私のしょうらいの夢はモスバーガーで作る人やレジの人になりたいです。コサージュを作る人にもなりたいです。大人になってどちらになるか楽しみです」（10 歳・女子）

・「勉強をがんばって頭のいい大人になりたいです」（10 歳・男子）

・「ぼくは、明るく元気な大人になりたいです。わけはほかの人を元気にしたいからです」（10 歳・男子）

・「ぼくのしょう来のゆめは学者になりたいです。今日ノーベル賞の授賞式がありました。ぼくも取りたいなぁと思いました」（10 歳・男子）

・「10 年後は走るのがもっと速くなりたいです。できたら国体にもでたいです。これからもがんばります」（10 歳・男子）

・「10 年無事に生きてこられてよかったです。お父さん、お母さん、先生、友だち、お世話になった人たちに感しゃします」（10 歳・男子）

・「私のしょうらいのゆめは、学校の先生になることです。このゆめは２年生のころからもったのでかなうといいなと思います」（10 歳・女子）

◎地域センターごとの出し物、有志によるバンド演奏などがあり、手作りのとても温かみのあるお祝いの会になりました。智内威雄さんのミニコンサートもとてもステキでした。20 歳の成人と 10 歳の子と並んで立つことで、それぞれがお互いを見て思うことがあったのではないでしょうか。私の娘も今年 10 歳で”2分の1成人”をお祝いしてもらったのですが、10 年後の娘の姿も同時に思い浮かべてしまいました。10 歳の子がこれからどう夢を実現していき、どんな青年になってどんな夢を語るのか、楽しみです。自分の子どもだけではなく地域の子どもを見守るということを実感できた、そんな会でした。

船橋子ども劇場理事長　大塚幸恵　記

プログラム

10:40	開会　挨拶・成人＆10 歳の子どもたち紹介・「将来の夢」等メッセージ
11:10	第１部「おめでとう！」ゲーム、ダンス、パネルシアター、南京玉すだれ、ハンドベル＆ビオラ演奏、元青年バンドなど
12:00	食事＆歓談・交流タイム（10 周年の歩みのスライドをみながら）
13:30	左手のピアニスト智内威雄ミニコンサート
14:00	閉会　記念品贈呈、お礼の言葉、参加者からのメッセージ

編集後記

“歌をとおして、心がつながった。”

3 月 29 日(金)きららホールで開催した、チャイルドライン千葉・ママパパラインちばを応援するチャリティコンサート「うたごえ喫茶ともしびがやってくる」は、小学生から 80 歳代までの幅広い年代の参加があり 170 人の笑顔と歌声が会場いっぱいに溢れました。“一人でも多くの子ども、パパ、ママの心に寄り添えること願っています。応援しています。”（アンケートより）皆さんの応援とメッセージを活動のチカラにしていきます。ありがとうございました。（中村幸恵）

舞台なま情報

●県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
●下見等については千葉県内の申し合わせ
・役員の下見は5名まで無料
・その子どもは1人1,000円
・その他は1人2,000円
（子ども、おとな同額）

第68号別冊 〈2013年5月～7月〉

舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ 演劇企画オフィス・アートプラン	すてきなさんにんぐみ	6/23	14:00	四街道公民館	四街道	幼児～大人
◇ アフタフ・バーバン	ざんさんのおはなし劇場	7/6	未定	市内公民館	船橋	全年令
◇ 民族芸能アンサンブル若駒	ずっこけ狂言ばなし どろ・ピカ・ぽん	7/6	14:30	イオン稲毛文化ホール	千葉中央	低学年
◇ 民族芸能アンサンブル若駒	ずっこけ狂言ばなし ぽんとこまいのがらりんちーん	7/7	15:30	市川市原木幼稚園	市川中央	幼児～大人
◇ 劇団仲間	ぼくはアフリカにすむきりんといいます	7/13	15:15	ミレニアムセンター佐倉	佐倉	0才～小3

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団ひとみ座	ふたりはともだち	7/6	未定	南行徳市民談話室（予定）	市川行徳	幼児～低学年
☆ 人形劇団ひとみ座	ふたりはともだち	7/13	未定	成田中央公民館（予定）	成田	4才～小3

音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ 健吾	健吾アコースティックライヴ	6/16	18:00	浦安市民プラザWave101	浦安	高学年
♪ みずのえ	森のピアニスト重松壮一郎 いのちの音ピアノ・コンサート	6/23	未定	市川市行徳公民館	市川行徳	小学高学年～大人
♪ 山の音楽舎	ふわふわ山の音楽会	7/2	未定	成田中央公民館（予定）	成田	0～3才児と保護者
♪ マリンバ・カンパニー	0～3才のためのマリンバ演奏会	7/15	11:30	浦安市民プラザWave101	浦安	0才～大人
♪ マリンバ・カンパニー	マリンバ・カンパニーmini	7/15	14:00	浦安市民プラザWave101	浦安	幼児～大人

芸能・他

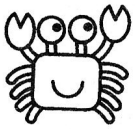
団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ でん舎	0才からの和太鼓 でんちゃんとたたこう	5/26	10:30	八千代市市民会館	八千代	0～3才親子
◎ でん舎	0才からの和太鼓 でんちゃんとたたこう	5/26	13:00	八千代市市民会館	八千代	年少～年長親子
◎ オフィス ツー・ワン・フォー エンターテイメント	たかお晃市のマジックシアター	7/13	18:00	習志野文化ホール	ならしの	3才以上
◎ TAP DO!	タップダンス・エンターテイメントショー スマイル＆コメディ	7/14	18:00	八千代市市民会館小ホール	八千代	幼児～大人
◎ エクスプレションD.S.	ダンスパフォーマンス ふくしまキッズ	7/21	13:30	成田市大栄公民館	成田	全年令

きらきらわくわく情報

2013年5月～7月

活動	日程	場所	主催団体
・おしゃべりほっとスペース ぷらっとhome	5/1.8.15.22.29,6/5.12.19.26,7/3.10.17.24.31	市川市大野地域ふれあい館	市川北
・おやこの広場 るーぷる	5/1.5	松戸市柿の木台公園体育館	まつど
・乳幼児とお母さんのほっとスペース はっぴいスペース	5/2.16,6/6.20,7/4.18	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北
・幼児サークル クレヨンクラブ火曜日コース	5/7.28,6/4.18,7/2.9	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳
・幼児サークル どんぐりクラブ	5/7.28,6/4.18,7/9	白井市内公園他	白井
・2･3才児親子ワークショップ ぴょんぴょん	5/8.22,6/12.26,7/10	八千代市ふれあいプラザ	八千代
・おしゃべりほっとスペース ぴよぴよひろば	5/9.23,6/13.27,7/13.27	市川市鬼高公民館(5/9のみ) 鬼越鬼高地域ふれあい館	市川中央
・幼児サークル ぴょんぴょんキッズ うさぎ	5/9.23,6/6,7/未定	市川市信篤公民館	市川中央
・ヨガサークル	5/9.30,6/13.27,7/4.25	市川市曽谷公民館	市川北
・幼児サークル クレヨンクラブ木曜日コース	5/9.23,6/6.20,7/4.11	市川市行徳公民館	市川行徳
・1･2才児親子ワークショップ ミニぴょんぴょん	5/9.23,6/13.27,7/11	八千代市市民会館	八千代
・1才半～未就園児の活動 アクティブ キッズ	5/9.23,6/13.27,7/11.25	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北
・未就園児と親のワークショップ	5/9.17,6/7.13,7/5.11	千葉市文化センター	千葉中央
・幼児サークル わいわいキッズ	5/10.24,6/14.28,7/未定	市川市駅南公民館	市川中央
・親子サークル プレンジ	5/10.24,6/14.28,7/5.12	市川市曽谷公民館	市川北
・乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ	5/10.17.24.31, 6/7.14.21.28,7/5.12.19.26	四街道市四区集会所	四街道
・幼児サークル わくわくキッズ	5/14.21,6/11.25,7/未定	市川市勤労福祉センター	市川中央
・おしゃべりほっとスペース きらきらひろば	5/14.28,6/11.25,7/9.23	市川市信篤公民館	市川中央
・幼児サークル ぴょんぴょんキッズ かえる	5/16.30,6/6.20,7/未定	市川市信篤公民館	市川中央
・乳幼児サークル のびのびキッズ玉造	5/16.30,6/13.27	成田市玉造公民館	成田
・乳幼児とママのための小さな居場所 ほわりん	5/16,6/20,7/18	袖ケ浦市代宿児童館	袖ケ浦
・ママたちのエアロビクラブ シェイク	5/17.31,6/7.21,7/5.12	市川市曽谷公民館	市川北
・おしゃべりほっとスペース こーひーかっぷ	5/20,6/3.17,7/1	市川市菅野公民館	市川北
・未就園児と親のワークショップ	5/23.31,6/21.27	千葉市きぼーる 子ども交流館	千葉中央
・幼児サークル ぷらんこ	5/24,6/7.21,7/4.18	流山市内公民館	流山
・0才からの和太鼓 でんちゃんとたたこう	5/26	八千代市市民会館	八千代
・乳幼児とママのための体験と交流のひろば ままんべいび第1回リフレッシュヨガ	7/2	袖ケ浦市長浦公民館	袖ケ浦
・子育て支援 ぷらっとたまり場 はっぱのおうち	毎週火・木	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba
・子育て支援 青空はっぱのおうち	第3木曜日	千葉市内近隣の公園	Wakaba

乳幼児の活動



講演会・学習会 ワークショップ

活動	日程	場所	主催団体
・劇団仲間による小さい子向けのワークショップ	6/2	未定	佐倉
・ミニミニワークショップ 影絵であそぼう	7/23.24	千葉市美浜文化ホール	千葉西

いろいろ体験活動

活動	日程	場所	主催団体
・放課後子ども教室　出会い体験夢ひろば	5/10.15.17.22.24.29.31	四街道市四区集会所	四街道
・木工で素敵なアイテムを！	5/19	千葉市あすみが丘プラザ	緑区
・放課後子ども教室出会い体験夢ひろば 休日体験 ザ・サスペンス小名木川の秘密	5/19	四街道市むくろじの里	四街道
・月例自然体験活動Sun²Go²（サンサンゴーゴー）あそぼうズ　キャンプまつり	5/21	千葉市若葉区山崎さんちの空き地	Wakaba
・バザー	5月未定	市川市行徳駅前公園	市川行徳
・放課後子ども教室　出会い体験夢ひろば	6/5.7.12.14.19.21.26.28	四街道市四区集会所	四街道
・子どものまち スマイルグリーンシティ	6/8～9	千葉市あすみが丘パーズモール	緑区
・月例自然体験活動Sun²Go²（サンサンゴーゴー）あそぼうズ　弓矢作り	6/23	千葉市若葉区山崎さんちの空き地	Wakaba
・つくっておくろう！とびだすカード作り	6/30	佐倉こどもステーション事務所	佐倉
・放課後子ども教室　出会い体験夢ひろば	7/3.5.10.12.17.19.24.26.31	四街道市四区集会所	四街道
・めざせ！森の料理人	7/6	千葉市昭和の森	緑区
・羽田空港 JAL整備工場見学	7/14	羽田空港	野田
・月例自然体験活動Sun²Go²（サンサンゴーゴー）あそぼうズ　流しそうめん	7/20	千葉市若葉区山崎さんちの空き地	Wakaba
・きもだめし	7/21	佐倉市総合上座公園	佐倉
・おやこキャンプ	7/27～29	市原市奥養老バンガロー村	千葉北
・ホタル観賞	7月末	市川市大町自然観察園	白井
・キャンプ	7月未定	未定	市川行徳

高学年の活動

活動	日程	場所	主催団体
・逃走中 in坂田が池	5/19	成田市坂田が池総合公園	成田
・高学年夏休み合宿	7/27～28	千葉市稲毛区千葉北事務所	千葉北

千葉県内子どもと舞台芸術・文化団体一覧

団体名	Tel.
● NPO法人　野田子ども劇場	04-7124-8419
● NPO法人　流山おやこ劇場	04-7152-0446
● NPO法人　市川子ども文化ステーション	047-395-7670
● NPO法人　市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024
● NPO法人　市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744
● NPO法人　市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670
● NPO法人　子どもっとまつど	047-344-2272
● 浦安子ども劇場	080-6651-9175
● NPO法人　船橋子ども劇場	047-424-0851
● NPO法人　ならしの子ども劇場	047-451-3676
● 白井子ども劇場	047-491-2163
● NPO法人　NPO佐倉こどもステーション	043-487-1655
● NPO法人　子どもネットハ千代	047-486-4699
● NPO法人　いんざい子ども劇場	0476-46-6287
● NPO法人　子どもプラザ成田	0476-29-1387
● 千葉西おやこ劇場	043-272-1416
● NPO法人　こどもユニットWakaba	043-232-0045
● 千葉北おやこみるあそぶ会	043-241-1142
● NPO法人　緑区子どもサポートセンター	043-308-4436
● NPO法人　千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
● NPO法人　四街道こどもネットワーク	043-423-5381
● やちまたおやこ劇場	043-442-3257
● 長生茂原おやこ劇場	0475-22-3000
● NPO法人　子どもる一ぷ袖ケ浦	0438-63-2850
● NPO法人　いちかわ市民文化ネットワーク	047-339-7809
● NPO法人　子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
● NPO法人　里山会	047-482-4613
● 千葉県子ども核廃	047-457-2065
● NPO法人　子ども劇場千葉県センター	043-301-7262

子どもと文化 イベント情報

◆ チャイルドライン千葉・ママパパラインちば合同研修 公開講座

千葉県女性サポートセンターは
相談対応で何を大切にしているか！

5月8日（水）13:30～16:00
場所：船橋市宮本公民館講堂
資料代：500円
主催/（特）子ども劇場千葉県センター
Tel.043-301-7262

◆ ドキュメンタリー映画
「うまれる」上映会

5月12日(日) 3回上映
①10:00～②13:30～③17:30～
場所：流山市生涯学習センター
対象：小学生～大人（①の回は乳幼児連れ可）
参加費：前売 大人1,200円 小中高生600円
当日 大人1,500円 小中高生800円
主催/ドキュメンタリー映画「うまれる」流山上映実行委員会
問合せ/（特）流山おやこ劇場
Tel.04-7152-0446

◆ みんなでニコニコフェスティバル

午前：逃走中、リレー、ドッジボールなど　午後：お店屋さん、ゲーム屋さん
5月12日(日)11:00～15:30受付10:30～
場所：市川市駅南公民館
対象：幼児～大人
参加費：無料
主催/（特）市川子ども文化ステーション中央
Tel.047-332-3024

◆ 鈴木淳一 X MORIMITSU
和太鼓Live2013皐月の巻

～佐倉の青年 守田くん出演！～
①5月12日（日）14:30開場15:00開演
場所：密蔵院（佐倉市寺崎2960）
②5月26日（日）14:30開場15:00開演
場所：正延寺（船橋市西船3-3-4）
チケット：①②それぞれ前売・当日2,000円（小学生以上）
申込み/090-9675-1669（守田）
問合せ/（特）子ども劇場千葉県センター
Tel.043-301-7262

◆ でん舎 0才からの和太鼓
でんちゃんとたたこう

5月26日（日）①10:30～11:30
②13:00～14:00
場所：八千代市市民会館リハーサル室
対象：①10:30～ 0～3才親子
②13:00～ 年少～年長親子
参加費：①一組2,500円
②一組1,500円
主催/（特）子どもネットハ千代
Tel.047-486-4699

◆ クラフト飛行機をつくって飛ばそう！

6月1日（土）14:00～16:00
場所：野田市立清水台小学校校庭
対象：小学生の親子
参加費：1人500円
主催/(特)野田子ども劇場
Tel.04-7124-8419

◆ 第4回しろい人形劇まつり

6月30日(日)12:30～16:00
場所：白井保健福祉センター(ウェルぷらっと)
対象：幼児～大人
参加費：200円
主催/しろい人形劇まつり実行委員会
Tel.047-497-3186(向井)

◆ 第15回あわ夢まつり

けん玉道場、ダンス、人形劇ほか
7月7日（日）13:00～
場所：千葉県南総文化ホール
参加費：前売300円 当日400円
主催/あわ夢まつり実行委員会
問合せ/長生茂原おやこ劇場
Tel.0475-22-3000

◆ ドラマリーディング劇「森と風のはなし」参加者ワークショップ

「森と風のはなし」は2014年2月9日（日）千葉県文化会館で上演
ワークショップ開始：5月25日～
開催場所：船橋、千葉、佐倉のいずれかで
対象：小学2年生から大人
申込み先・NPOまちアート・夢虫
Tel.047-431-2925
・NPO佐倉こどもステーション
Tel.043-487-1655

◆ たかお晃市のマジックシアター

オフィスツー・ワン・フォーエンターテイメント
7月13日（土）18:00開演19:30終演
場所：習志野文化ホール
対象：3才以上
参加費：未定
主催/（特）ならしの子ども劇場
Tel.047-451-3676

◆ 第9回子育て応援メッセin袖ケ浦

7月14日（日）10:00～15:00
場所：袖ケ浦市根形公民館
対象：乳幼児～大人
参加費：子ども1人100円大人無料
主催/（特）子どもるーぷ袖ケ浦
Tel.0438-63-2850

◆ マリンバ・カンパニー
0～3才のためのマリンバ演奏会

7月15日（月祝）11:30開演
場所：浦安市民プラザWave101大ホール
対象：0才～大人
参加費：一家庭1,000円
主催/浦安子ども劇場
Tel.080-6651-9175

◆ 小学生対象の自然体験活動

Sun²Go²（サンサンゴーゴー）あそぼうズ
午前は青竹で水鉄砲作り、お昼は流しそうめん、午後は水鉄砲でゲーム
7月20日（土）10:00～14:00
場所：千葉市若葉区山崎さんちの空き地
参加費：800円（3才未満無料）
小学生未満は保護者同伴
主催/（特）こどもユニットWakaba
Tel.043-232-0045

◆ エクスプレションD.S. ダンスパフォーマンスふくしまキッズ

7月21日（日）13:30開演
場所：成田市大栄公民館
対象：全年令
参加費：500円（3才以上）
主催/（特）子どもプラザ成田
Tel.0476-29-1387

※(特)は特定非営利活動法人を略しています
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは 各主催団体にお願いします。